

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年5月

鳥取県立博物館

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料	1 3 頁
7	事業別実施状況調べ	1 3 頁
8	予備費の充用調べ	1 3 頁
9	現金の取扱状況	1 4 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	1 4 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 6 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	
12	借受不動産明細調べ	1 7 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	1 7 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	1 8 頁
15	備品の処分状況調べ	1 8 頁
16	貸付金等状況調べ	1 8 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
17	博物館運営	1 9 頁
	(1) 管理運営	
	(2) 利用状況	
18	博物館資料保有状況	3 5 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
企画展「輝いていた60's」の講演会等に係る経費について、支出負担行為の事務手続きが遅延していた。	支出負担行為を適切な時期に行う。
特型高演色LEDスポットライト(刀剣展示用)3台の購入に係る随意契約について、同じ見積書を物品請求書と契約・交付伺書に使用していた。	契約形態が1者随契であり、見積額が参考見積と同額であっても、県の規則で改めて見積書が必要なことを業者に説明し再度見積書を提出していただくよう、博物館内全職員に通知した。

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和4年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	
定 員	4	4	19	19	0	0	23	23	
現 員	() 4	(1) 4	() 18	() 18	() 0	() 0	() 22	(1) 22	
過不足(△)	0	0	△ 1	△ 1	0	0	△ 1	△ 1	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	4	4	39	41	3	3	46	48	・事務4名（一般事務2名、事務補助1名、複写機オペレーター1名） ・技術39名（史料補修専門員2名、資料管理専門員1名、貝類標本専門員1名、広報・普及専門員1名、受付5名、看視員29名） ・現業3名（警備員3名）

4 役付職員の調べ

(令和4年5月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
館長	漆原 芳彦	0	1	通算勤務期間 5年1月
副館長(兼)	尾崎 信一郎	0	1	本務 美術館整備局美術振興監 継続勤務期間 15年4月 (令和4年3月31日付定年退職)
副館長兼総務課長	藤原 浩	1	1	出納員 継続勤務期間 4年1月
学芸課長	川上 靖	1	1	継続勤務期間 21年1月
美術振興課長	三浦 努	2	1	継続勤務期間 20年1月
総務課課長補佐	森田 佳代	2	1	
総務課課長補佐	岩成 安雄	2	1	
主幹学芸員	一澤 圭	1	1	継続勤務期間 17年1月
主幹学芸員	福代 宏	8	1	継続勤務期間 28年1月

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
企画展開催費	77,621	0	0	14,498	63,123
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール (04質の高い教育をみんなに)				
政策項目					

1 事業の目的、概要

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や世界的・全国的に貴重な作品等について、広く県民に紹介する企画展を開催する。

2 事業の内容、実施の状況

【受贈記念 垣田堅二郎コレクション展】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	4,942	1,057	3,885
決算(見込)額	4,895	509	4,386

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

- ・令和2年度、倉吉市在住の垣田堅二郎氏より版画作品を中心に167点の美術作品の寄贈を受けた。このことを記念して「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」を開催し、受贈作品すべてを一堂に紹介する。
- ・コレクションの主要な一角を占めることとなるこれらの受贈作品を初めて公開し、令和7年春の新しい県立美術館の開館に向けて、機運醸成を図る。

イ 事業の実施状況

- ・展示内容は菅井汲(すがい・くみ)や宇佐美圭司(うさみ・けいじ)、李禹煥(リー・ウーフアン)、小野木学(おのぎ・まなぶ)等有名な美術家の代表的な作品であり、とりわけ銅版画において日本を代表する深澤幸雄(ふかざわ・ゆきお)の作品約30点や、日本でも人気のあるジョルジュ・ルオーの版画集「流れる星のサーカス」17点をはじめとした展示内容とした。
- ・関連事業としては、県外の版画研究者の特別講演会および担当者による展示解説を予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、特別講演会は中止となった。
- ・展覧会終了後は所蔵品目録としても活用できるよう、全作品の画像と情報を収録した図録を作成した。

会 期	入館者数	目 標
令和3月4月10日(土)から5月9日(日)まで 27日間(休館日：会期中4月の毎週月曜日(3日))	1,978人	3,000人

うち有料入館者数：698人(入館者数の35.3%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	57	31	1	7	1	97
割合[%]	58.8	32.0	1.0	7.2	1.0	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
担当学芸員によるギャラリートーク (4/10・17・24)	89名
ワークショップ「巨大な版画でこいのぼりをつくる」 (5/1)	24名

(2) 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ポスターやチラシの表紙には著名なルオー作品を使い、県内外の版画愛好家やルオーファンに訴求することを目指した。
- ・NHK鳥取放送局の生中継を4月16日に行うなど、地元の来場者増につなげるための取り組みを行った。

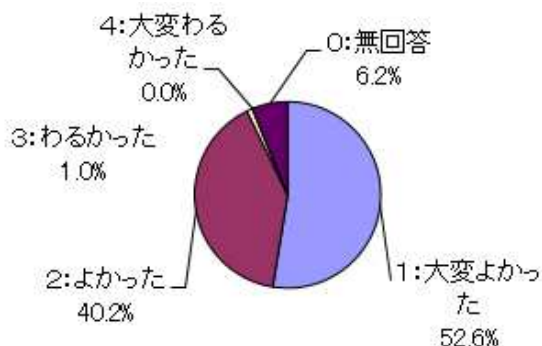
(3) 成果及び効果

- ・入館者目標の3,000人に対して実績は1,966人と未達であったが、入館者からは上質な作品に鳥取で出会えたことへの高い評価が多く聞かれた。
- ・鳥取県の近現代美術コレクションのうち、これまでは数の少なかった国内外の近現代版画作品の層が厚くなったことを実感してもらうことができた。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・垣田コレクションは新美術館の重要な位置を占めると思う。誇れる作品群でした。
- ・版画というのは地味で目立たないが実際に見ると随分印象が違う。こうして一堂に見ると尚更そう思う。いいコレクション展だと思った。若い人、小中高生に見てほしい。
- ・ジョルジュ・ルオーを中心に見にきたが、様々な人の作品がありよかった。ただ、ガラス越しでよく見えなかった。ルオー、アントニ・クラヴエの作品はもっと近くで見たかった。



(4) 課題

- ・版画愛好家に訴求するため、知名度の高いルオーの作品をメインのイメージとしたが、一般来館者層への訴求力を高めるためには、もっと色使いが斬新なものやかたちの明確な作品の方が適切であった可能性がある。広報等について、より一層分かりやすさを追求することが必要である。

【QooDZILLA!! クジラとイルカの世界】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予 算 額	21,567	3,955	17,612
決 算(見込) 額	21,557	3,996	17,561

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

クジラ類(クジラとイルカ)は、陸上から海中生活への高度な適応を果たした哺乳類である。本展覧会では、彼らの進化や多様性、行動生態など、野生動物としてのなまなましい姿にもスポットをあてて紹介し、自然科学への興味や海洋環境への関心を高めることを目的とする。また、鳥取県におけるクジラ類の漂着記録や関連資料を通し、漂着鯨類を調査することの意義について考えるきっかけづくりとする。

イ 事業の実施状況

- ・“地球上最大の動物” シロナガスクジラ実物大高精細写真や“海の王者” シャチの全身骨格標本を展示し、実際のスケール感を体感していただいた。
- ・様々なクジラ類の頭骨標本を展示し、歯やヒゲ板等の多様な形状や採餌生態との対応について紹介した。
- ・消化管や排泄物の標本、個体間コミュニケーションや繁殖生態を示す行動映像など、ほかではあまり取り上げられない内容も紹介し、クジラ類の奥深い魅力に迫った。
- ・鳥取県内での漂着鯨類の記録をまとめ、主要なものはその関連標本を展示するとともに得られた知見を紹介するなど、漂着鯨類を調査することの重要性を伝えた。

会 期	入館者数	目 標
令和3年7月17日(土)から8月29日(日)まで 44日間 ※うち4日間を臨時休館	13,401人	10,000人

うち有料入館者数：6,342人(入館者数の47.3%)

※当館職員に新型コロナウイルス感染症の陽性が判明したため

(参考) <入館者の地域別割合> アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	169	26	18	33	3	249
割合[%]	67.9	10.4	7.2	13.3	1.2	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
「鳥取西高校自然科学部 クジラ講座」：鳥取県立鳥取西高等学校の自然科学部とのコラボ企画。入館者に対し、同部の生徒による標本解説やクジラクイズ等を行った。(8/7、8)	※計数せず
「ICT機器でつなぐ博物館の企画展見学」：鳥取養護学校の児童・生徒を対象に、ICT機器を活用したオンライン展示解説を実施した。(8/26)	17人

(2) 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・実物標本の他、実物大高精細写真や多くの行動映像を取り入れ、入館者が生きたクジラ類のなまなましい姿をイメージしやすいようにした。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえて借用先を減らしたため、展示資料数が少なくなったが、その分資料の周囲のスペースを十分に取り、入館者がフィジカルディスタンスを取りやすくすると同時に、一つひとつの資料をじっくり観察できるようにした。
- ・新型コロナウイルス感染症が終息しないことから、来館自体が困難である養護学校の生徒に対してICT機器を活用したオンライン展示解説を実施した。事前にクジラのヒゲ板やイルカの骨を学校に送っておき、当日、学芸員の画面越しの解説を受けて生徒が標本を触ることができるなどの工夫をした。
- ・「鳥取西高校自然科学部 クジラ講座」として、地元高校とのコラボ企画を実施した。展示室の一角にスペースを設け、同部顧問が所有するイルカの骨格標本等を展示するとともに、2日間にわたって同部生徒による解説やクイズなどを行った。入館者が地元高校生と直接的なコミュニケーションとることにより、親しみながら学びを深められることを目指した。
- ・展覧会オリジナルキャラクターを制作し、補助解説や標本の注目してほしいポイントを示すのに使用した。
- ・「クイズラリー」を実施し、入館者が楽しみながら学べるようにした。

(3) 成果及び効果

- ・新型コロナウイルス感染症の状況をふまえた団体来館の予約キャンセルや、陽性判明による臨時休館などの影響もあったが、結果的に目標を上回る入館者数があった。
- ・アンケート結果によると「県外」居住者が13.3%であり、例年の自然系企画展と比べると明らかに低い値であった。緊急事態宣言が発令された状況で、県をまたぐ移動を控えた影響と思われる。
- ・アンケートの感想には「各地の水族館を訪れているが、初めて知る内容も多くとても楽しめた。」といったものがあった。ほかではあまり扱わない内容も大きく取り上げたことで、入館者の興味関心を高めることにつながったと

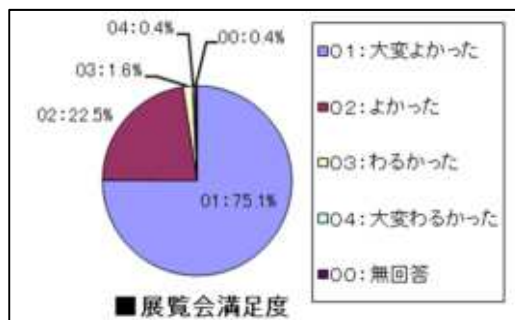
言える。

- ・ICT機器を活用したオンライン展示解説は非常に好評であり、新型コロナウイルス感染症の終息後も遠隔地の学校等に対して応用できる方法であると感じられた。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・普段から各地の水族館を訪れていて、太地町のくじらの博物館にも行ったことがあったが、初めて知る内容も多くとても楽しめた。想像以上に専門的な一方、誰でも楽しめる展示だったと思う。
- ・もう少し工夫して数を多くしてほしい。展示物が少ない。子供の遊びも少し取り入れたらいいと思う。
- ・クジラ、イルカの進化の経過を知れて良かった。特にクジラの全体の写真には圧巻されたし感動でした。最後のプラスチックごみの件は本当に悪いことをしていると思った。
- ・興味をそそる展示のしかたとクイズをやりながら歩くので、学ぼうとする姿勢になれる。
- ・説明もタイトルで理解しやすく、細かな遊び心も見られた。
- ・胃がたくさんあることを知ってびっくり。エサのとりに方もいろいろな種類があり面白かった。
- ・等身大パネルがとても分かりやすかった！鳥取にもたくさん漂着していておどろきました。



(4) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、体験型の展示はほぼ無くしてしまいましたが、そこを残念がる声も聞かれた。感染リスクを高めない形での体験型展示を検討していくべきである。
- ・「鳥取西高校自然科学部 クジラ講座」は好評であったものの、生徒による解説・クイズは2日間しか実施できず、また展示スペースは十分な広さがとれなかった。当該企画の発案から実施までの期間が短く、調整に十分な時間が取れなかったことも一因である。今後同様の企画を行う際は、準備・調整に十分な期間を設け、生徒と入館者との交流の機会を増やせるよう努めたい。
- ・「撮影不可」の資料について、開幕当初、入館者に対する看視員の対応にばらつきが出てしまった。看視員には明確な説明・指示を行うとともに、入館者にわかりやすい表示・同じ対応ができるようにするべきだった。

【企画展「とっとりの乱世—因幡・伯耆からみた戦国時代—」】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予 算 額	19,695	2,031	17,614
決 算(見込)額	19,618	6,985	12,633

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

- ・あまり知られていない「鳥取城の戦い」以前の因幡・伯耆国の戦国時代史を紹介する。
- ・中国地方一円の因幡・伯耆に関わる重要資料、鳥取藩士家に伝来した戦国時代の品々を多数展示する。

イ 事業の実施状況

- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、県をまたぐ移動は控えることが続いていたが、県中西部からの入館者が多かったことや、ディスプレイや武将イラストの集客効果があったことで、目標入館者数を達成することができた。

会 期	入館者数	目 標
令和3年10月9日(土)から11月7日(日)まで 29日間(休館日：10月25日(月))	5,005人	5,000人

うち有料入館者数：2,938人(入館者数の58.7%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	115	38	43	52	3	251
割合[%]	45.8	15.1	17.1	20.8	1.2	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
シンポジウム「因幡・伯耆国の戦国時代史の今」(10/17(日))	57名
出張展示解説「二つの展覧会で見るととりの戦国時代」(10/24(日))	25名
講座「はじめてのお抹茶体験」(10/31(日))	17名
講座「西国の戦国時代と因幡・伯耆の人々」(共催：鳥取県立公文書館)(11/3(祝・水))	57名
講座「花押のデザイン」(11/7(日))	20名

(2) 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新たな客層の開拓のため、鳥取県ゆかりの武将たちのイラストの制作甲冑のディスプレイ展示や、山城の空撮動画放映といった展示やそれらを活用した広報に取り組んだ。

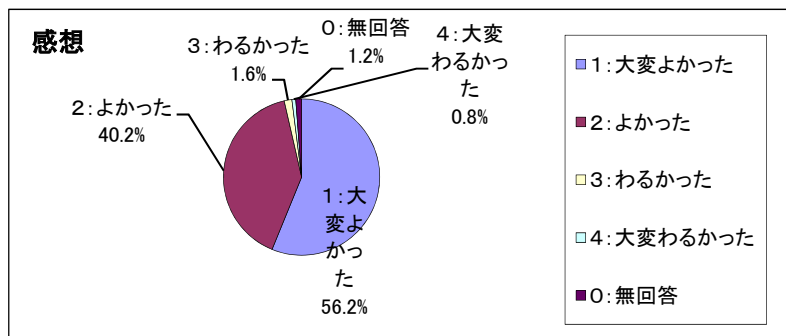
(3) 成果及び効果

- ・知られていない“鳥取城の合戦以前”の因幡伯耆の歴史、ほとんど展示が行われていない伯耆国の戦国時代を良質な資料で紹介するという試みは、入館者コメントなどを見るに一定の成功を収めた。
- ・近年の歴史系展覧会と比較して県中西部からの集客が多く、県外からの来館者は22%だった。年齢構成としては来館者層のピークが40代で、従来の歴史系展覧会に比して30～40代の来館が多く、新しい展示手法や広報の効果があったと思われる。
- ・山城の空撮動画の放映と城郭調査の成果の紹介は、多くの人の関心を引いていた。展示解説では、県内にはまだ多数の山城が眠っていることに驚きの声が聞かれた。
- ・鳥取県立公文書館との連携講座では、戦国時代研究を牽引する研究者の成果に触れる場をつくることができた。
- ・本企画展の調査の中で「鳥取加須屋(かすや)家文書」などの新出文書が発見されたことや、「名和神社文書」などが当館に受託されたことは成果であった。
- ・山中鹿介の武将イラストをメインビジュアルにするなどの新たな取り組みにより新規の客層を開拓した。また、甲冑のディスプレイ展示はSNSで拡散され、海外からも注目された。展覧会図録や武将イラストを用いたグッズも好評だった。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・中国地方が地元なので歴史を知る良いきっかけになりました。
- ・甲冑の展示の仕方に目を引かれました。他、住んでいる県の戦国時代について詳しく知れてとても面白かったです。(日本史では習わないので…)
- ・詳しく知らなかった鳥取における乱世の攻防を詳しく知ることが出来勉強になった。また、魅力的な山城がたくさんあることが分かったことも収穫でした



- ・博物館にたくさんの収蔵品があることがわかりました。また、最後の因幡周辺の城の紹介ビデオは行ってみたいくなりました。イメージが膨らみとても良かったです。
- ・吉川経家より前のことをあまり知らなかったので来て良かったです。
- ・せっかくタペストリーを作成したので、それを展示と絡めるともっと幅広い層に対してなじみやすくなるかもしれません。
- ・一つひとつの資料の説明がこれまでの人文系より少ないのかどうも「ストーリー」が見えず、新たな発見もなくど

うにも面白みに欠けた。

- ・乱世で使われていた武具等の展示を期待していた。戦国時代に使われていた道具をもっと展示してほしい。

(4) 課題

- ・因幡・伯耆国戦国史を中心に語る形にしたが、広く理解していただくためには全国的な戦国時代史とリンクする仕組みを考える必要がある。
- ・制作した武将イラストなどの広報効果は高かったが、展示資料との連関を上手く紹介するなど、イラストの使用方法について工夫が必要。

【東郷青児と前田寛治、ふたつの道】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	14,359	4,002	10,357
決算(見込)額	14,277	2,869	11,408

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

- ・鳥取県と損保ジャパンとの包括連携協定に基づく取り組みとして、両者が所蔵する絵画をもとにした連携展示会を開催する。
- ・展示内容は、洋画家・東郷青児の作品約240点を核に、東郷に關係する日本・フランスの画家の作品を多数収蔵しているSOMPO美術館のコレクションから45点の作品と約390点の前田寛治作品、および前田と關係のあった画家たちの作品を積極的に収集してきた鳥取県立博物館のコレクションから55点の作品を選び、合わせて紹介する。

イ 事業の実施状況

- ・作風の全く異なる東郷と前田二人の作品を際立たせながら、彼らが出会った日本とフランスの画家たちの作品にも焦点を当て、近代日本の洋画家たちが追い求め築こうとしたものとは何だったのかをあらためて見つめ直す機会となるよう展示構成した。
- ・関連事業としては、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ外部講師の招聘はせず、担当者による展示解説およびレクチャー付きのアートシアターを開催した。
- ・両館の出品作品を収録した図録を作成した。

会 期	入館者数	目 標
令和3年11月20日(土)から12月26日(日)まで 36日間(休館日：12月6日(月))	3,683人	8,000人

うち有料入館者数：1,861人(入館者数の50.5%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	187	28	20	38	3	276
割合[%]	67.8	10.1	7.2	13.7	1.1	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
担当学芸員によるギャラリートーク(11/20、12/4、12/18)	97名
アートシアター「世界のグレートアーティスト／パリの特別美術展」より6つのプログラムを上映(11/27、12/11、12/25)	62名

(2) 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ポスターやチラシの表紙には東郷と前田の自画像を使い、二つの個性が際立つようなイメージを与えるデザインを施した。
- ・一方、テレビコマーシャルや新聞広告では、ゴーギャンやルノワールなど著名な作家の作品を使い、入館者増につなげるためのイメージづくりを行った。

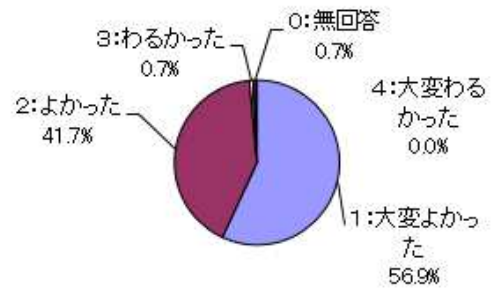
(3) 成果及び効果

- ・入館者数は目標の8,000人に対し3,699人であったが、入館者から著名な作家の作品を鳥取で鑑賞できたことに満足した様子がうかがわれた。
- ・「東郷と前田を対比させるのはこれまでにない試みで良かった」といった声が複数寄せられており、今回の展示のねらいに対し、一定の評価が得られたと考える。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・東郷青児と前田寛治の生きていた時代の日本の絵画の様子がわかった。
- ・展示の数、前田、東郷以外の関連作品も非常に良かった。藤田作品が見られたことが特に嬉しかった。ピカソの版画まであって良かった。
- ・鳥取県立博物館にもクールベの作品があるとは知りませんでした。他にも知らない多くの画家の絵が見てみたい。
- ・SOMPO美術館所蔵のビッグネームの作品が沢山あってよかった。先日テレビの美術番組でチェックしたばかりのゴーギャンの絵まであったので驚いた。



(4) 課題

- ・ゴーギャンなど著名な画家の作品イメージを使用しても、展覧会タイトルになっている「東郷と前田」の二人の名前を知らない人にはやはり縁遠いものであったかもしれない。洋画分野の既定ファン層を超えて、より一般層に訴えかけるタイトルを検討する必要があると考える。

【小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌(レクイエム)】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	16,030	2,164	13,866
決算(見込)額	15,745	140	15,805

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

- ・近年全国的にも注目が集まっている鳥取県ゆかりの画家・小早川秋聲(こばやかわ・しゅうせい)の、初期から晩年までの代表作を中心にその全貌を紹介する。
- ・「戦争画を描いた従軍画家」というイメージの強かった小早川の、別の側面(国内外を広く旅して絵画を制作)を紹介し、これまでの小早川像を刷新する。

イ 事業の実施状況

- ・展示作品として日南町美術館と当館の所蔵品や寄託品、関西の個人所蔵品を中心に展示した。
- ・小早川としては初めての全国巡回展で、鳥取会場は最後の会場であったが、他会場では展示しなかった地元・鳥取の個人所蔵家が持つ新発見の作品なども紹介し、小早川ファンの来場欲を高める取り組みを行った。
- ・関連事業では、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、外部講師はリモートでの出演となった。奥日野地域の小早川ゆかりの寺などを訪ねるツアーも開催した。

- ・ 出品作品を収録した図録を作成した。

会 期	入館者数	目 標
令和4年2月11日(金祝)から3月21日(月祝)まで 34日間(休館日：3月21日を除く毎週月曜日(5日))	2,607人	5,000人

うち有料入館者数：1,577人(入館者数の60.5%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	67	7	8	10	0	92
割合[%]	72.8	7.6	8.7	11.0	0.0	100

<関連事業参加者数>

内 容	参加者数
担当学芸員によるギャラリートーク (2/12、3/13)	65名
スペシャルアートツアー「小早川ゆかりの地を巡る旅 in 奥日野」 (3/5)	10名
特別講演会①「小早川秋聲が尋ね求めたもの」 (3/12)	62名
特別講演会②「小早川秋聲の画業と《國之楯》」 (3/19)	45名

(2) 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 来場者層を拡大するための新しい方法として、電子チケット(イープラス)による前売券販売を試験的に導入した。
- ・ 会期前から新型コロナウイルスの感染拡大が進んだため、来場できない方への配慮も込めて、会場内を動画撮影して当館のホームページ上で展示の様子を楽しめるような措置を行った。

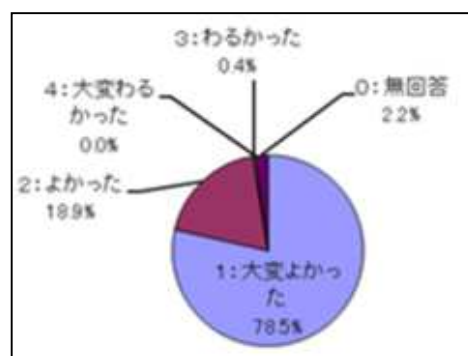
(3) 成果及び効果

- ・ 入館者数は目標の5,000人に対し、2,606人であったが、入館者から充実した回顧展を鑑賞できたことに満足した様子が見えられた。
- ・ 本企画展の調査の中で新たな作品が多く確認され、今後の小早川研究に資する材料が確保された。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・ 鳥取県出身の画家で又僧侶であり絵の作風画風が幅広く素晴らしい物だった。個人蔵が多く今後めったに見えないと思った。
- ・ 初めて知った画家だったが実物を見たら迫力が凄くて見入ってしまった。華やかでノスタルジックで、あやしさもあった。
- ・ 2回目の観覧。近代日本画が好きなので、こういった企画はとてうれしい。
- ・ 時代を感じさせていただいた。昭和19年生まれの私は、父やおじの戦争体験を聞いて育った時代を思い起こし、いろいろと涙が流れた。
- ・ ウクライナで戦争が起きている今だからこそ見るべきと思った。



(4) 課題

- ・ これまでにない出品規模で開催された小早川として初の全国巡回の回顧展であったにもかかわらず、その魅力やインパクトを広報で伝えきれなかったことは大きな課題である。展覧会のセールスポイント等をしっかり踏まえて広報計画を練り、実施する必要があると考える。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
博物館普及事業費	5,000	0	0	0	5,000
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール 04 質の高い教育をみんなに				
政策項目	-				

1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

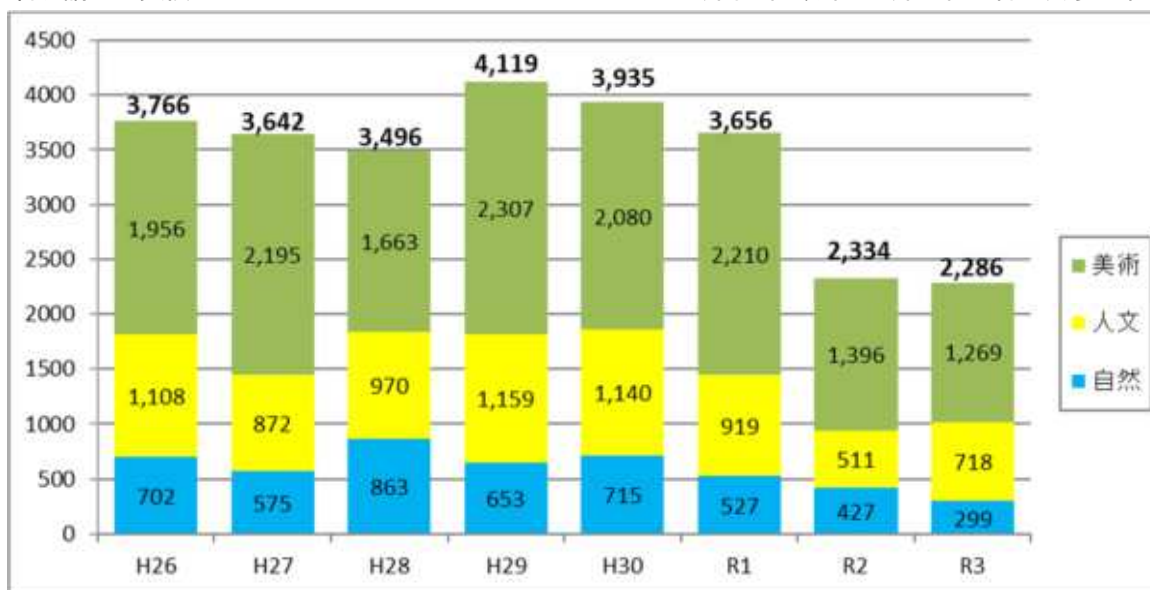
2 事業の内容、実施の状況

(1) 生涯学習支援

- 館内外で、各種講演会・ワークショップ・観察会等の普及講座を開催した。なお、美術分野「コレクション宅配便」を美術館整備課と連携して実施している。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ中止とした講座があり、例年に比べて開催回数が減少した。

普及講座の実績

(単位：回数=回 (中止回は除く)、参加者=人)



年度	自然		人文		美術		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
H25	17	711	28	1,192	50	1,694	95	3,597
H26	17	702	32	1,108	50	1,956	99	3,766
H27	18	575	30	872	50	2,195	98	3,642
H28	20	863	32	970	53	1,663	105	3,496
H29	21	653	37	1,159	63	2,307	121	4,119
H30	20	715	36	1,140	61	2,080	117	3,935
R1	17	527	33	919	54	2,210	104	3,656
R2	11	427	25	511	41	1,396	77	2,334
R3	12	299	28	718	44	1,269	97	2,286

- ・館蔵資料や作品を県内各地で見学・鑑賞に供するため、移動博物館・移動美術館を開催した。

移動博物館・移動美術館／出前展示の実績 (単位：回数＝回、入場者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者
H26	4	3,526	7	2,312	1	246	12	6,084
H27	6	2,611	4	1,003	2	851	12	4,465
H28	5	643	5	3,778	2	569	12	4,990
H29 ^{※1}	2	943	自然・人文共同開催 (左記に含む)		2	2,231	4	3,174
H30	4	674	3	275	2	645	9	1,594
R1 ^{※2}	4	455	5	1,653	2	1,927	11	4,035
R2 ^{※2}	4	475 ^{※3}	1	350	1	406	6	1,231
R3	3	278	1	855	中止	—	4	1,133

※1 移動博物館を希望する学校や公民館等の応募開催から、平成29年度より当館が選定する会場での開催に変更。展示を希望する学校への対応は「出前展示」と名称を変更して継続。

※2 自然・人文共同開催の1回は自然の欄に含む。

※3 自然・人文共同開催の1回はショッピングモール開催のため集計できず。

(2) 学校教育支援

- ・博物館の持つ専門知識や博物館資料等の学習資源を学校教育活動やその対象となる学校教職員に提供する「教員のための博物館の日」は48名の参加申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえて中止した。
- ・同事業は平成26年度に始まり、当時は59名が有給休暇を取得して参加した。平成27年からは県教育センターの研修講座として参加可能となったため、90名と急増した。その後平成28年は61名、平成29年は64名、平成30年は37名、令和元年度は55名と推移している。令和2年度は50名の参加申込があったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえて、中止となった。
- ・アウトリーチ事業として各学校等に出前展示、学芸員派遣などの照会を行い、博物館資料を活用した講座を実施した。青谷高校の「青谷学」など博学連携の取組に成長している事案ができた。令和3年度は鳥取養護学校でオンライン展示解説、米子養護学校ではオンライン形式でワークショップを行うなど新しい形の学校教育支援を行った。

(3) 情報発信

- ・生涯学習支援、学校教育支援に関する情報をとりネット(博物館ホームページ)で情報発信した。
- ・平成28年度からFacebookでの情報発信にも努めており、フォロワーは1,579人(令和4年3月末)。更新頻度も増えており、「いいね!」を押すことによる口コミ効果が広がっている。令和2年5月からInstagram、令和3年12月からはTwitterも開設し、SNSで広く情報発信している。
- ・研究報告、普及誌(博物館ニュース)等を発行した。
- ・県立図書館・公文書館・埋蔵文化財センターとの4館合同デジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」を随時更新している。また、デジタルアーカイブの使い方に関する講座も実施した。

3 事業成果(改善状況)、課題等

(1) 事業成果(改善状況)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿った対策に努めながら事業を実施した。募集人数が少なくなってしまうものは午前・午後2回に分けるなどの工夫も行った。
- ・「角大師のオリジナルマスクをつくろう」(人文)・「ポスターやチラシを使ってオリジナルマスクケースをつくろう」(美術)など、新型コロナウイルス対策にも適したプログラムを実施した。
- ・「化石をさがせ!」(自然)「因幡の古墳を観察してみよう」など新しい屋外プログラムも実施した。
- ・県民協力団体(鳥取地域史研究会、鳥取地学会、鳥取生物学会)と連携した講座を開催した。

- ・学校からの展示希望について、「出前展示」として実施した。
- ・前年度に比べて、オンラインでの学芸員派遣や展示解説の依頼が増えた(0件→3件)。特に養護学校の児童生徒は感染リスクが高いため、外部との接触がなくなって久しく、オンラインの取組は非常に歓迎された。

(2) 課題等

- ・「教員のための博物館の日」は、参加者の中に新型コロナウイルス感染拡大防止に特に配慮すべき養護学校の教諭が多数含まれており、県教育センターと協議した結果、中止とした。対面では難しい部分については、オンラインでの参加や動画などの情報配信などの様々な手段を組み合わせた体制をつくることで、中止せずに実施できることを教育センターと検討したい。
- ・普及講座は現状でも回数自体は多く計画しているが、新型コロナウイルス対策のため参加者の人数を制限してしまうものが多く、全体でみると参加者が年々減っている印象に捉えられてしまう。講堂での講座・イベントなどは、もう少しターゲットを絞った広報の見直しが必要であろう。
- ・新しい生活様式に沿った新しい普及講座の在り方(3密を避けるなど)を検討し、また、障がいの有無にかかわらずどんな方でも参加可能なユニバーサルな講座の形を模索する。
- ・オンラインでの講座開催やWEB会議などが日常のものとなり、博物館内でネットワークの整備(整理)が必要となっている。今後、庁内LANの無線化も控えており、全体の再整理が必要である。
- ・収蔵資料のデジタルアーカイブ「とっとりデジタルコレクション」を活かすために、学習教材としての展開をとり、デジタル参加館や教育センター、学校と連携を図っていく必要がある。

<令和3年度研究成果>

【自然担当】

- ・鳥取県立博物館研究報告59号に、次の研究を出版・発表した。
 - 鳥取県立博物館に所蔵されている鳥取市佐治町の辰巳峠産植物化石コレクション目録
鳥取県立博物館に収蔵されている鳥取県鳥取市佐治町辰巳峠産の後期中新世の植物化石について再整理を行い、新たな目録を作成した。その結果、186点が新たにリストに追加され、合計605点となった。この中にはホロタイプ16種16点、パラタイプ16種30点が含まれている。種数は22目38科144種が確認された。

【人文担当】

- ・鳥取県立博物館研究報告59号に、次の研究を出版・発表した。
 - 鳥取藩領因幡国岩井郡大庄屋中島家「御用日記」翻刻 その六
当館所蔵の中島家文書「御用日記」の解読を進め翻刻資料を紹介するとともに、記事中の歴史事象に関する若干の考察を加えた。

【美術担当】

- ・令和2年度に行った垣田堅二郎氏所蔵コレクションの調査研究を踏まえて、その成果として「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」を開催した。同展に併せて、所蔵品目録として図録も刊行した。
- ・当館が長年行ってきた前田寛治とその周辺の作家の調査研究と作品収集成果を踏まえて、その集大成的な意味合いも込めた企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」を開催し、その成果を反映させた図録も刊行した。
- ・鳥取県ゆかりの近代日本画家・小早川秋聲の全体像を明らかにする目的で他館学芸員らと共同研究を行い、その成果として企画展「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」を開催し、その成果を反映させた図録も刊行した。

6 決算資料
別途提出

7 事業別実施状況調べ
別途提出

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況 (令和4年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
教育使用料、博物館使用料	1,042,500	214	博物館入館料
物品売払収入	949,870	75	刊行物(図録)売払収入
雑入	7,460	44	公衆電話使用料、コピー代、余剰金
合計	1,999,830	333	

(2) つり銭の状況 (令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	250,000
--------	---	----------	---------

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)	価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地	14,227.96	不明	増加	R							
					減少	R							不明
計			3,260.40	不明	増加	R							
					減少	R							不明
			17,488.36	0								17,488.36	0

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)	価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地	9,699.18	726,927,000	増加	R							
					減少	R							726,927,000
計			488.80	15,739,470	増加	R							
					減少	R							15,739,470
			10,187.98	742,666,470								10,187.98	742,666,470

ウ 山林

エ 不動産売却等

オ 財産の交換

該当なし

該当なし

該当なし

力 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
 キ 物 権 該当なし
 ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
 ケ 有価証券 該当なし
 コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の保有状況
 ア 金券の保有状況
 有 . 無

イ タクシーチケットの保有状況 (令和4年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
54 (JCB : 0枚) (ハイヤ-組合 : 54枚)	40 (JCB : 40枚) (ハイヤ-組合 : 0枚)	5 (JCB : 1枚、期限切れ 0枚) (ハイヤ-組合 : 4枚、未使用処分0枚) 円	89 (JCB : 39枚) (ハイヤ-組合 : 53枚)
		19,290	

(3) 基 金 (令和4年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取県美術品取得基金	500,000,000	18,900,000	18,900,000	500,000,000	美術品 8件
合 計	500,000,000	18,900,000	18,900,000	500,000,000	

(4) 債 権 該当なし

1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物 該当なし
 ア 土地 該当なし
 イ 建物

行政・普通 財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	来館者のための カフェ事業	鳥取市東町二丁目 124番地	35.16㎡	R3.4.1	H23.6.28	R3.4.1 ～ R4.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市行徳二丁目260 株式会社 グラン・クリュ食工房		
	鳥取県立博物館 振興会事業	鳥取市東町二丁目 124番地	19.66㎡	H30.4.1	H19.3.30	H30.4.1 ～ R5.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目124番地 鳥取県立博物館振興会		
計								0			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料	住 氏 名	所 名			
國領経郎 「悠々」他	3	油彩・カン ヴァス他	R3.4.12 ～ R3.6.20	月額 年額	0	東京都千代田区九段南4-6-14 九段YMビル3F 一般社団法人 日洋会 理事長 小灘 一紀	国立新美術館	「第35回記念日洋展」特別展示に 出品のため		
小早川秋聲 「水雨降る宵」他	6	絹本・著色 他	R3.8.7 ～ R3.9.26	月額 年額	0	京都市中京区三条高倉 京都文化博物館 館長 山田 啓二	京都文化博物館	「小早川秋聲 旅する画家の鎮 魂歌」京都展に出品のため		
			R3.10.9 ～ R3.11.28	月額 年額	0	東京都千代田区丸の内1-9-1 東京ステーションギャラリー 館長 富田 章	東京 ステーション ギャラリー	「小早川秋聲 旅する画家の鎮 魂歌」東京展に出品のため		
曾我蕭白 「月夜山水図襖」他	2	紙本・墨画	R3.10.8 ～ R3.11.21	月額 年額	0	愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 愛知県美術館 館長 拝戸 雅彦	愛知県美術館	「曾我蕭白展」出品のため		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
大島松谷 「秋渓掃樵図」他	2	絹本・著色	R3. 9. 11 ～ R3. 10. 10	月額 年額	0	鳥取県日野郡日南町霞785 日南町美術館 館長 村上 伴樹	日南町美術館	TMM連携事業共同企画展「木下翠 雨の里帰りと同時代を生きた郷 土の日本画家たち」に出品のため		
バーナー・ド・リーチ 「扁壺」他	3	陶器	R3. 8. 29 ～ R4. 2. 28	月額 年額	0	鳥取県鳥取市栄町651 公益財団法人鳥取民藝美術館 館長 吉田 章二	鳥取民藝美術館	「吉田璋也と民藝を創った人々」 展に出品のため		
合計					0					

1 2 借受不動産明細調べ
該当なし

1 3 職員駐車場の管理状況調べ
該当なし(利用者なし)

1.4 寄附物件の受納状況調べ

(令和4年3月31日現在)

品名	規格・銘柄等	数量	見積金額	寄附申込年月日	寄附申込者氏名	受納年月日	受納手続の有無	備考
サンショウウオ液浸標本	液浸標本	1	円 5,000	R3. 8. 17	個人	R3. 8. 25	有	自然資料
イボトビムシ標本	プレパラート標本	5	1,000	R3. 9. 18	個人	R3. 10. 13	有	自然資料
地学標本(岩石・鉱物・化石)等	乾燥標本	約 5,000	250,000	R3. 11. 16	個人	R3. 11. 19	有	自然資料
クロシジミ標本	乾燥標本	2	400	R4. 2. 10	個人	R4. 2. 25	有	自然資料
無形民俗文化財「ため池における魚伏籠(ウグイ)漁」関係資料		7		R3. 4. 1	大堤うぐい突き保存会、南部町浅井区	R3. 4. 1	無	民俗資料
護符	俵詰め	1	9,000	R3. 6. 10	個人	R3. 6. 15	有	民俗資料
薬液散布機		1	5,000	R3. 9. 16	個人	R3. 9. 7	有	民俗資料
菅井汲《無題》他	版画他	169	36,210,000	R3. 3. 30	個人	R3. 5. 18	有	美術資料
佐藤剛《角皿》他	陶器他	143	1,863,000	R3. 5. 3	国際交流基金	R3. 5. 11	有	美術資料
清水九兵衛《FIGURE IV》	アルミニウム	1	6,667,000	R3. 5. 3	個人	R3. 5. 18	有	美術資料
フェリックス・ゴンザレス=トレス《Untitled((Bloodwork Steady Decline)》	鉛筆・紙	1	3,500,000	R2. 3. 20	個人	R3. 5. 18	有	美術資料
合計		約 5,331	48,510,400					

1.5 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処 分					備考
			売払棄却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払 額	処分 費用	
高濃度ガス検知器	H20. 3. 28	R3. 11. 12	棄却	耐用年数経過により使用不可	R3. 11. 12	円 0	円 0	
合計								

1.6 貸付金等状況調べ
該当なし

17 博物館運営

(1) 管理運営

ア 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会(昭和33年条例第16号設置)は、委員13人で構成し、運営、自然、美術、人文の専門部会を組織して運営している。

会議の開催状況

全体会 令和3年6月25日(書面評決)、12月10日

イ 入館料、使用料

入館料

(平成29年4月1日改訂)

区 分		金額			特別展示
		通常展示			
		同日中に特別展示に入館しない場合	同日中に博物館主催の特別展示に入館する場合	同日中に博物館主催以外の特別展示に入館する場合	
個人 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	展示に要する経費を勘案して、教育委員会が別に定める額
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	180円	無 料	90円	
団 体 (20名以上) 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	150円	無 料	70円	

展示室等使用料

(平成27年4月1日改訂)

区 分	金 額	
第1展示室	1日につき 13,300円	半日につき 6,650円
第2展示室	〃 13,300円	〃 6,650円
第3展示室	〃 10,380円	〃 5,190円
講 堂	〃 5,320円	〃 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円	

備 考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 午後5時を越えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第 1 展 示 室	1時間につき 1, 6 6 0円
第 2 展 示 室	" 1, 6 6 0円
第 3 展 示 室	" 1, 3 0 0円
講 堂	" 6 6 0円

3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

展示室等利用料金の減免事由

該当項目	減免対象	減免率
芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
障がいのある方、難病患者の方及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
70歳以上の高齢者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
要介護者等及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
全県の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
郡市単位以上の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
教育研究団体が教育内容の向上を目的として行う教職員を対象とした講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
個人又は団体等が一般人を対象に開催する展示会、講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
博物館の業務に関連のある展示会で、入場料(これに類するものを含む。)が県立博物館の入館料最高額をこえないもので、博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合	展示室	展示期間の 前後各1日 10/10
その他博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合の展示会、講演会又は講習会等	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
学校等が、生徒等が行う公演、生徒等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10
幼児・児童又は生徒が参加するもので、対象団体等が主催する文化芸術行事又はスポーツ行事(学年単位以上、学校の文化部が行う発表会等、対象団体が行う大会等) 【対象団体】(県内のものに限る) 幼稚園、保育所、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、高等専門学校、専修学校、指定技能教育施設、教育関係団体	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10

展示室等利用料金の無料事由

該当項目	無料対象
とっとり県民の日(9月12日)には、展示室等使用料(とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行う場合に限る。)についてはこれを徴収しない。9月の第2土曜日及びその翌日における当該使用料についても、同様とする。	展示室 講堂 会議室 冷暖房料

ウ 開館時間、休館日

開館時間 午前9時から午後5時まで

(教育委員会があらかじめ指定する日にあつては、午前9時から午後7時まで)

- 休館日
- ・月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。)である場合は、その翌日(その日が休日でない場合に限る。))
 - ・休日の翌日(その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。)
 - ・12月29日から翌年の1月3日までの日

(2) 利用状況

ア 展示室等利用状況 (日数)

(単位: 日)

区分	常設 展示室	第1 展示室	第2 展示室	第3 展示室	講堂	会議室	合 計
主 催	321	247	247	109	29	35	988
その他	0	111	111	67	14	14	317
計	321	358	358	176	43	49	1,305

イ 博物館利用者数

(単位: 人)

区分	常設展	企画展等	講堂	会議室	研究相談	普及活動 (講堂、会議 室を除く)	カフェ 利用者	合 計
主 催	29,579	26,674	1,102	646	155	3,177	0	61,333
その他	0	29,978	1,294	218	0	0	11,366	42,856
計	29,579	56,652	2,396	864	155	3,177	11,366	104,189

ウ 常設展月別入館者数

(単位：人)

月別	開館日数	幼児			小中学生			高校生			学生			一般			合計			1日当たりの入館者数						
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計							
4月	28	80	0	80	105	203	308	15	48	63	18	0	18	(637)	(0)	(637)	(795)	(131)	(926)	(637)	(0)	(637)	(1,013)	(382)	(1,395)	49
5月	28	134	6	140	112	0	112	20	0	20	28	0	28	(669)	(2)	(671)	(916)	(221)	(1,137)	(669)	(2)	(671)	(1,210)	(227)	(1,437)	51
6月	27	110	77	187	129	5	134	35	14	49	38	2	40	(108)	(0)	(108)	(608)	(80)	(688)	(108)	(0)	(108)	(920)	(178)	(1,098)	40
7月	29	985	19	1,004	1,602	96	1,698	74	54	128	39	0	39	(2,866)	(0)	(2,866)	(3,207)	(142)	(3,349)	(2,866)	(0)	(2,866)	(5,907)	(311)	(6,218)	214
8月	30	1,120	0	1,120	1,919	44	1,963	290	0	290	317	0	317	(4,101)	(0)	(4,101)	(4,461)	(154)	(4,615)	(4,101)	(0)	(4,101)	(8,107)	(198)	(8,305)	276
9月	25	74	0	74	112	247	359	23	0	23	79	0	79	(150)	(0)	(150)	(858)	(154)	(1,012)	(150)	(0)	(150)	(1,146)	(401)	(1,547)	61
10月	30	89	31	120	119	711	830	20	176	196	40	0	40	(810)	(0)	(810)	(1,013)	(112)	(1,125)	(810)	(0)	(810)	(1,281)	(1,030)	(2,311)	77
11月	28	166	56	222	140	360	500	35	0	35	15	0	15	(999)	(0)	(999)	(1,244)	(190)	(1,434)	(999)	(0)	(999)	(1,600)	(606)	(2,206)	78
12月	26	57	0	57	81	224	305	39	90	129	61	0	61	(1,617)	(22)	(1,639)	(1,780)	(139)	(1,919)	(1,617)	(22)	(1,639)	(2,018)	(453)	(2,471)	95
1月	25	93	0	93	128	6	134	7	0	7	37	0	37	(145)	(71)	(216)	(357)	(232)	(589)	(145)	(71)	(216)	(622)	(238)	(860)	34
2月	27	50	0	50	58	0	58	15	0	15	40	0	40	(177)	(1)	(178)	(285)	(89)	(374)	(177)	(1)	(178)	(448)	(89)	(537)	19
3月	26	97	0	97	122	2	124	53	0	53	106	0	106	(378)	(1)	(379)	(643)	(171)	(814)	(378)	(1)	(379)	(1,021)	(173)	(1,194)	45
合計	329	3,055	189	3,244	4,627	1,898	6,525	626	382	1,008	818	2	820	(12,657)	(97)	(12,754)	(16,167)	(1,815)	(17,982)	(12,657)	(97)	(12,754)	(25,293)	(4,286)	(29,579)	89
補足説明	() は入館料減免者で内数である。																									

(3) 事業内容

ア 常設展示

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴史・民俗	820	88	908
美 術	108	0	108
合 計	3,138	103	3,241

(ア) 自然展示室 (1階 515㎡)

鳥取県の自然史、すなわち地質、地形、化石、動物、植物についての歴史と現在の姿を理解できるように、また環境問題や自然との共生を考えるために、実物標本・レプリカ・パネル等を用いてわかりやすく展示解説した。

(イ) 歴史・民俗展示室 (1階 515㎡)

本県の縄文時代から近代までの生活様式の移り変わりや、因幡・伯耆の歴史や文化の特色が理解できるように、資料や模型・模写等を用いながら展示解説するとともに、祖先から伝承された生活用具、日用品、芸術娯楽及び年中行事や県内各地の有形・無形の民俗資料を展示解説した。

(ウ) 近代美術展示室 (2階 374㎡)

事 業 名	会 期	内 容
テーマ展示Ⅰ ならべてくらべて ―近世絵画・近現代日本画を中心に―	4月17日(土)～ 5月12日(日)	当館収蔵の近世絵画および近現代日本画の幾つかを特徴別に並べて比較しながら紹介するテーマ展示を開催した。
夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅢ 瀧澤潔 鳥取県立博物館のためのインスタレーション2021	7月17日(土)～ 8月29日(日)	多様なアートと出会う場を提供する「シリーズ：美術をめぐる場をつくる」の3年目の企画。今年度は、土地のイメージや展示空間の特徴から着想し、様々な手法を用いて素材の集積や粗密を生み出すことにより、空間全体を異なる色彩や質感に変化させ、非日常的な空間を作り出すアーティスト 瀧澤 潔による光のインスタレーション作品の制作・展示を行った。
コレクション展 美術家大辞典 鳥取県立博物館版 近現代編：ま行以降の美術家	11月27日(土)～ 令和4年 1月10日(月・祝)	当館のコレクションを基軸としつつ県内のミュージアムや個人が所蔵する素描を交えながら、近代以降に活動した郷土ゆかりの洋画家や彫刻家らによる様々な素描を展覧し、紙に残された手の痕跡を通じて、素描そのものの魅力を紹介した。

イ 特別展示

(令和4年3月31日現在)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
受贈記念 垣田堅二郎 コレクション展	R3. 4. 10 ～ R3. 5. 9	令和2年度に倉吉市在住の垣田堅二郎氏より寄贈を受けた、版画作品を中心とする167点の美術作品すべてを一室で紹介した。令和7年春開館予定の県立美術館のコレクションの主要な一角を占めることとなるこれらの作品を初めて公開し、新しい美術館の建設気運を盛り上げた。	1,978	
第60回麒麟のまち鳥 取市美術展	R3. 5. 23 ～ R3. 5. 30	鳥取市民に芸術作品を創作する意欲を促すとともに、優れた作品を展示することにより市民に鑑賞の機会を提供し、鳥取市及び鳥取県東部地区の美術振興に寄与するための展覧会を開催した。	2,172	鳥取市
木梨憲武展 Timi ng—瞬間の光り—	R3. 6. 5 ～ R3. 7. 4	木梨憲武氏が本展覧会のために作成した新作を中心に、これまでに高い評価を得た代表作を含め、絵画・ドローイング・オブジェ・映像作品など幅広い作品群を紹介した。	19,184	株式会社 新日本海 新聞社
Q o o D Z I L L A!!クジラとイルカ の世界	R3. 7. 17 ～ R3. 8. 29	クジラ類の野生動物としての生々しい側面を実物標本や貴重な映像とともに解説するとともに、鳥取の海岸におけるクジラ類の漂着記録をまとめ、代表的なものを標本や写真とともに紹介した。また、漂着したクジラ類を調査することでわかるクジラ類の生態や海洋プラスチックごみの問題についてとりあげた。	13,401	
第65回鳥取県美術展 覧会	R3. 9. 18 ～ R3. 9. 27	広く県民の方から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、県内の美術、文化の振興に寄与する展覧会を開催した。	3,956	鳥取県 (文化政 策課)
とっとりの乱世—因 幡・伯耆からみた戦国 時代—	R3. 10. 9 ～ R3. 11. 7	現在の鳥取県を構成した因幡・伯耆国の戦国時代を重要資料を展示して読み解くとともに、鳥取藩池田家やその藩士たちの戦国時代の歴史にも光を当てた。新たな客層の開拓のため、鳥取県所縁の武将たちのイラストの制作甲冑のディスプレイ展示、山城の空撮動画の放映など、新しい取り組みを行った。	5,005	
令和3年度シニア作品 展	R3. 11. 14 ～ R3. 11. 20	高齢者の特技、趣味活動の成果を発表する場を創造し、生きがい活動の促進と拡充を図るため、県内の高齢者が創作した日本画、洋画、彫刻・工芸、書及び写真の作品を募集し、展示した。	484	鳥取県 (長寿社 会課)
コレクション・マリ アージュ：SOMPO 美術館×鳥取県立博物 館 東郷青児と前田寛治、 ふたつの道	R3. 11. 20 ～ R3. 12. 26	SOMPO美術館所蔵の東郷青児の代表作と、当館所蔵の前田寛治の代表作を合せて紹介し、作風の全く異なる東郷と前田二人の仕事を際立たせながら、彼らが出会った日本とフランスの画家たちの作品にも焦点を当て、近代日本の洋画家たちが追い求め、築こうとしたものとは何だったのかをあらためて見つめ直した。	3,683	
第19回鳥取県ジュニ ア美術展覧会	R4. 1. 8 ～ R4. 1. 16	鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図るための展覧会を開催した。	2,355	鳥取県 (文化政 策課)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
鳥取県文化功労賞受賞 記念巡回展	R4. 1. 22 ～ R4. 1. 30	鳥取県では、優れた芸術文化活動により広く文化振興に功績のあった方の功績を讃えて鳥取県文化功労賞を設置しており、本展において令和3年度に受賞された方の功績と活動を広く紹介した。	611	鳥取県 (文化政策課)
あいサポート・アート とっとり展東部巡回展	R4. 1. 21 ～ R4. 1. 30	平成26年度に開催した「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会(あいサポート・アートとっとりフェスタ)」の成果を未来に引き継ぐため、障がい者が取り組む作品制作活動の発表と鑑賞の機会を提供することを目的に、令和3年12月4日に開幕した令和3年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」の東部巡回展を開催した。	808	鳥取県 (障がい福祉課)
小早川秋聲 旅する画 家の鎮魂歌	R4. 2. 11 ～ R4. 3. 21	日本画壇における代表的な従軍画家として知られている日本画家 小早川秋聲の個人コレクションを中心に、代表作をはじめとした初期から晩年にいたる日本画約100点あまりと資料から時代を切り取りつつ、その画業の全貌を紹介した。	2,607	
第43回鳥取県書道連 合会展	R4. 3. 29 ～ R4. 3. 31	鳥取県内書道人の書の祭典として開催され、選抜された150名による漢字、仮名、漢字仮名交じり書と幅広いジャンルの作品を展示した。	408	鳥取県書 道連合会
合 計			56,652	

ウ 普及活動

(ア) 移動博物館

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
人文	不滅の刀 ～よみがえる伯耆国の赤羽刀～	北条みらい伝承館	11月27日(土)～ 12月19日(日)		855
合 計 1 回					855

(イ) 出前展示

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	レッドデータブックとっとり	倉吉養護学校	6月2日(水)～ 6月14日(月)		18
	鳥取県の化石	倉吉養護学校	9月16日(木)～ 9月24日(金)		60
	レッドデータブックとっとり	気高中学校	12月7日(火)		200
合 計 3 回					278

(ウ) 移動美術館

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
移動 美術館	もっと版画りましょう	キナルなんぶ	7月26日(月)～ 8月8日(日)		中止
合 計 1 回					0

(エ) ①学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	とっとり生物多様性推進センター連 絡協議会	鳥取県庁議会棟15会議 室	4月27日(火)		12
	森の博物館を作ろう!	鳥取養護学校	9月14日(火)		15
	生徒の研究に伴うコマチゴケ調査	鳥取市栗谷	10月26日(火)	4	3
普及	令和3年度学校図書館司書研修会	オンライン	11月16日(火)		21
合 計 4 回					51

(エ) ②学芸員派遣

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	馬の山ハイキング～馬の山の野草を 満喫～	湯梨浜町橋津	4月25日(日)	20	20
	見て触って城山自然ツアー	米子市湊山公園	4月29日(木)	20	24
	岩美町の自然・歴史巡り	岩美町中央公民館	5月15日(土)	15	中止
	ハマナス見学会と保護活動	赤碕地区公民館	5月16日(日)		42
	青谷学(地学)	青谷高校	5月26日(水)		14
	自然観察会(城原海岸～鴨ヶ磯)	岩美町中央公民館	6月9日(水)	15	中止
	青谷学(生物)	青谷高校	6月16日(水)		14
	石の観察会	八頭郡若桜町浅井庄ノ 瀬川原	7月11日(日)	20	21
	森のシンポジウム～西郷地区の植物 たち～	鳥取市立西郷地区公民 館	7月18日(日)	40	44

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 の 続 き	明治地区野外学習講座～もっと知ろうよ明治の自然～「フィールドワークⅠ松上」	鳥取市立明治地区公民館	7月22日(木)	15	15
	昆虫観察会	禰谷公園	7月24日(土)		25
	植物標本の作り方講座	気高町図書館	7月30日(金)	8	10
	生き物観察会	船岡竹林公園	8月3日(火)		18
	石の観察会	鳥取砂丘子どもの国	8月7日(土)		20
	見て触って城山自然ツアー	米子市湊山公園	8月22日(日)	20	18
	青谷学(地学)	青谷高校	8月26日(木)		14
	オンライン企画展見学	博物館展示室	8月26日(木)		10
	石の観察会	鳥取市河原町周辺	8月27日(金)		13
	青谷学(生物)	青谷高校	9月8日(水)		14
	オンライン授業「感じよう作ってみよう」	博物館実験室	9月21日(火)		12
	大滝山自然観察会	倉吉市関金町大滝山	9月25日(土)		14
	野外観察イベント「家族対抗トンボ取りレース」	とっとり出会いの森	9月26日(日)	20	21
	馬の山ハイキング ～馬の山の山野草を満喫～	湯梨浜町馬の山	10月2日(土)	15	15
	鳥取で〇〇やってみた	鳥取市青島公園	10月7日(木)	5	5
	立体地図作り	浜坂小学校	10月13日(水)		9
	青谷学(生物)	青谷高校	10月13日(水)		11
	石の観察会	鳥取市河原町和奈見	10月15日(金)		8
	学芸員派遣(地学)	浜村小学校	10月21日(木)		24
	川のはたらきと浜村地区の地形・地質	浜村小学校	10月21日(木)		33
	明治地区森林ウォーク	鳥取市明治地区公民館	10月23日(土)		15
	生きもの観察会	空山ポニー牧場とその周辺	10月29日(金)		8
	野外観察イベント「おちばの中の虫さがし！」	とっとり出会いの森	11月6日(土)		12
	ふれあい部会で実施する植物鑑賞会	かちべ伝承館	11月16日(火)		12
	学芸員派遣(地学)	崎津小学校	11月17日(水)		26
	キャリアメッセージ2021	鳥取大学附属中学校	12月2日(木)		25

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然 の 続 き	野外観察会「日光池の謎解き観察会」	気高町日光池	12月5日(日)	20	21
	大地のつくりと変化	鳥取市立大正小学校	12月9日(木)		30
	見て触って城山自然ツアー	米子城跡	12月11日(土)		25
	第4回山陰海岸ジオパークサイエンスカフェ「浦富海岸の植物と人々の暮らし」	鳥取環境大学英語村	1月23日(日)	20	中止
	冬の野鳥観察	湖山池情報プラザ	2月1日(火)		18
	隠岐ユネスコ世界ジオパーク、ガイドスキルアップ講座(オンライン)	オンライン	2月18日(金)		18
	オシドリとアオネカズラの観察会	根雨神社等	2月19日(土)		12
	見て触って城山自然ツアー	米子城跡	3月12日(土)		22
	学芸員派遣(化石からわかること)	気高中学校	3月15日(火)		50
人文	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月3日(土)・4日(日)		31
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月1日(土)・2日(日)		32
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月5日(土)・6日(日)		35
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月3日(土)・4日(日)		22
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月7日(土)・8日(日)		中止
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月4日(土)・5日(日)		中止
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月2日(土)		40
	むきばんだ土曜講座	むきばんだ史跡公園	10月23日(土)		30
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月6日(土)・7日(日)		28
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月4日(土)・5日(日)		40
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月8日(土)・9日(日)		22
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月5日(土)・6日(日)		中止
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月5日(土)・6日(日)		中止
美術	コレクション宅配便	鳥取短期大学	6月14日(月)		38
	対話型鑑賞ファシリテーション体験	鳥取短期大学	6月29日(火)		38
	《ワークショップ》紙コップでアート	中浜公民館	8月3日(火)		中止
	《ワークショップ》ステンシルシート	余子公民館	8月5日(木)		中止

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
美術 の 続 き	《ワークショップ》	米子養護学校	8月25日(水)		25
	《ワークショップ》ブラックライト	倉吉養護学校	9月10日(金)		26
	コレクション宅配便	上小鴨コミュニティセ ンター	9月22日(水)		30
	《ワークショップ》線の森にはいっ ちゃお	船岡小学校	10月7日(木)		51
	コレクション宅配便	境港市立第2中学校	10月12日(火)		107
	《アーティストとつくろう》デザイ ナーの世界に触れてみよう!	名和中学校	10月14日(木)		41
	《ワークショップ》ブラックライト	船岡小学校	10月22日(金)		20
	コレクション宅配便	三朝小学校	11月2日(火)		45
	コレクション宅配便	岸本中学校	11月18日(木)		70
	《ワークショップ》	倉吉養護学校	11月19日(金)		8
	《アーティストとつくろう》手びね り体験	浜村小学校	12月14日(火)		38
	コレクション宅配便	米子工業高等専門学校	12月15日(水)		40
	コレクション宅配便	鳥取短期大学	12月21日(火)		40
	《アーティストとつくろう》コラー ージュの技法を使って作品をつくろう	鳥取市教育センターす なはま	12月22日(水)		10
	コレクション宅配便	宮下地区公民館	1月20日(木)		15
普及	《ワークショップ》火起こし	空山ポニー牧場	11月5日(金)		7
	《ハイレベルセミナー》科学がつな ぐ古と今―「とっとりデジタルコレ クション」の世界	鳥取西高等学校	12月7日(火)		17
合 計 78 回 (うち9回中止)					1,704

(オ) 教員向けイベント

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
教員のための博物館の日2021	博物館講堂・会議室・ 展示室	7月29日(木)		中止
合 計 1 回 (うち1回中止)				0

(カ) 普及講座・講演会

● 自然部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《野外観察会》鳥取県生物学会会員と歩く 「生物観察会」 in 21世紀の森	鳥取市河原町「21世紀 の森」	5月9日(日)	20	36
《天体観望会》春の星を見る会	多目的広場	5月15日(土)		中止
《野外観察会》自然観察さいしょの一步	倉吉市打吹山	5月29日(土)	20	15
《講演会》山陰海岸ジオパーク再発見～ジオ サイト巡りを楽しむために～	博物館講堂	6月12日(土)	90	46

(● 自然部門の続き)

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫たち～	博物館講堂・会議室	6月13日(日)	20	中止
《野外観察会》スマホで変形菌撮影会	大山町大山寺地区	7月3日(土)	12	9
《天体観望会》夏の星を見る会	多目的広場	8月7日(土)	/	中止
《自然講座》標本をしらべる会	博物館会議室	8月8日(日)		27
《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	8月22日(日)	20	中止
《野外観察会》化石をさがせ!	日野郡日南町多里	9月26日(日)	15	21
《野外観察会》きのこを調べる会	大山町大山寺地区	10月16日(土)	15	17
《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう!	倉吉市打吹山	10月24日(日)	15	16
《野外観察会》川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見	11月7日(日)	10	12
《野外観察会》あっと、ときめくコケ観察会	かちべ伝承館	11月7日(日)	24	20
《講演会》とつとりの両生類ーカエル・サンショウウオ・イモリー	博物館講堂	12月4日(土)	90	65
《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	12月19日(日)	15	15
合 計 16 回 (うち4回中止)				299

● 人文部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《歴史講座》江戸時代鳥取藩の酒づくりについて	博物館会議室	4月10日(土)	25	20
《歴史講座》因幡の古墳を観察してみよう	鳥取市内	5月23日(日)	10	10
《歴史講座》山名氏の同族連合体制と伯耆山名氏	博物館会議室	6月12日(土)	25	25
《歴史講座》鳥取藩内における瓦の普及について	博物館会議室	7月10日(土)	25	15
《歴史講座》藩主菩提寺・興禅寺の書画について	博物館講堂	7月18日(日)	80	30
《歴史講座》ふすまの下のお宝を探そう!	博物館会議室	8月9日(月)	10	中止
《歴史講座》近世中後期の朝廷と鳥取藩 - 公家と関係を結ぶ人びと -	博物館会議室	8月15日(日)	20	中止
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	展示室	8月22日(日)	/	中止
《講演会》幕末・明治の動乱ー北垣国道と鳥取人脈ー	博物館講堂	9月12日(日)		80
《歴史講座》中世因幡国と広元流大江氏	博物館会議室	10月9日(土)	25	20
《講演会》山陰地域の戦国時代と東アジアの世界	博物館講堂	10月10日(日)	80	80
《シンポジウム》因幡・伯耆国の戦国時代史の今	博物館講堂	10月17日(日)	80	57
《歴史講座》二つの展覧会で見るとつとりの戦国時代	博物館講堂・展示室	10月24日(日)	25	25

(● 人文部門の続き)

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《歴史講座》はじめてのお抹茶体験	博物館会議室	10月31日(日)	10	17
《講演会》中国地域の戦国期戦争と「境目」地域の民衆	博物館講堂	11月3日(水)	80	57
《歴史講座》花押のデザイン	博物館会議室	11月7日(日)	20	20
《歴史講座》芳心院の法華信仰	博物館会議室	11月13日(土)	25	18
《歴史講座》伯耆往来をあるく(大山口～淀江)	大山町～米子市	11月28日(日)	20	20
《歴史講座》鳥取県における文化財防災・防犯への取り組み	博物館会議室	12月11日(土)	25	13
《歴史講座》子どものための日本刀入門	博物館会議室	12月12日(日)	10	9
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	展示室	12月19日(日)	15	30
《歴史講座》古文書講座「写された文書を解読する」	博物館会議室	1月9日(日)	20	15
《歴史講座》社会観光と文化財保護 戦後文化財行政の成立と変容	博物館会議室	1月15日(土)	25	11
《歴史講座》ぶちごまを作って回そう	博物館会議室	1月16日(日)	10	9
《歴史講座》厄よけのお守り「角大師」のオリジナルマスクをつくろう	博物館会議室	2月6日(日)	20	14
《歴史講座》鳥取城研究の15年	博物館講堂	2月12日(土)	80	60
《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	2月13日(日)	20	20
《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	2月20日(日)	20	20
《歴史講座》古代の鏡を観察してみようⅡ	博物館会議室	2月27日(日)	12	10
《歴史講座》日本海航路のランドマークとしての伯耆・因幡の山岳について(仮)	博物館会議室	3月12日(土)	25	16
《シンポジウム》鳥取藩明治維新シンポジウム 安達清風とその時代	博物館講堂	3月21日(月)	80	27
合 計 31 回 (うち3回中止)				718

● 美術部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《ギャラリートーク》企画展「垣田堅二郎コレクション展」	博物館展示室	4月10日(土)		35
《ギャラリートーク》企画展「垣田堅二郎コレクション展」	博物館展示室	4月17日(土)		33
《ギャラリートーク》企画展「垣田堅二郎コレクション展」	博物館展示室	4月24日(土)		21
《ワークショップ》巨大な版画でこいのぼりをつくっちゃおう!	博物館前庭	5月1日(土)	20	24
《ギャラリートーク》日本美術鑑賞入門	博物館展示室	5月8日(土)		22
《アートシアター》ドリス・ヴァン・ノッテン ファブリックと花を愛する男	博物館講堂	5月15日(土)	70	26

(● 美術部門の続き)

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《アートシアター》ドリス・ヴァン・ノッテン ファブリックと花を愛する男	博物館講堂	5月22日(土)	70	10
《ワークショップ》夏の普及事業の作戦会議「ワークショップつくり隊！」ミーティング	博物館会議室	5月29日(土)		10
《ワークショップ》らくがきばんざい!	博物館前庭	6月5日(土)		168
《アートシアター》エッシャー 視覚の魔術師	博物館展示室	6月12日(土)	40	31
《ワークショップ》大人のほんきのものづくり - アトリエ探訪& ワークショップ 手びねりでうつわをつくる(その1)	鳥取市内	6月19日(土)	10	9
《館外普及事業》アートの種まきプロジェクト 美術館が建つ場所の、定点写真を一緒に撮ってみませんか? - 「定点観測」始めます!	倉吉未来中心セミナー ルーム7	6月26日(土)	20	13
《ワークショップ》色水であそぼう! inくらよし	倉吉未来中心アトリウム	7月3日(土)	60	51
《アートシアター》美人画と物語絵画—美人に見ほれ物語に見ほれ	博物館講堂	7月10日(土)	70	8
《スペシャルワークショップ》「瀧澤さんとつくる光の空間」会場設営編	博物館会議室・展示室	7月17日(土)	5	中止
《スペシャルワークショップ》「瀧澤さんとつくる光の空間」作品制作編	博物館会議室・展示室	7月24日(土)	15	20
《ワークショップ》「エンボッシング」でオリジナルポストカードをつくろう!	キナルなんぶ	7月31日(土)	15	中止
《ワークショップ》「ティピー」づくりに挑戦!	倉吉未来中心アトリウム、美術館建設地	8月7日(土)	10	中止
《アートシアター》ソング・オブ・ザ・シー海のうた	博物館講堂	8月14日(土)	70	中止
《アートシアター》ソング・オブ・ザ・シー海のうた	博物館講堂	8月21日(土)	70	70
《アートシアター》エリック・カール コレクション	博物館講堂	8月28日(土)	70	54
《ワークショップ》泥でアート!	博物館地下バックヤード	9月4日(土)		中止
《ギャラリートーク》TMN共同企画展「木下翠雨の里帰りと同時代の郷土の日本画家たち」	日南町美術館	9月11日(土)		14
《ワークショップ》らくがきばんざい! 秋編	博物館前庭	9月18日(土)		中止
《ワークショップ》大人のほんきのものづくり - アトリエ探訪& ワークショップ 手びねりでうつわをつくる(その2)	鳥取市内	9月25日(土)	10	9
《アートシアター》ゴーギャン タヒチ、楽園への旅	博物館講堂	10月2日(土)	70	28
《アートシアター》ゴーギャン タヒチ、楽園への旅	博物館講堂	10月9日(土)	70	25
《レクチャー&ワークショップ》初めての「プログラミング」	博物館会議室	10月16日(土)	8	9
《アートシアター》ミステリアスピカソー天才の秘密	博物館講堂	10月23日(土)	70	70
《ワークショップ》あなたもファシリテーターに! (その1) 「初めての対話型鑑賞」	博物館展示室	10月30日(土)	6	7

(● 美術部門の続き)

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《ワークショップ》あなたもファシリテーターに！(その2)「対話型鑑賞勉強会」	博物館展示室	11月6日(土)	6	6
《ワークショップ》超カンタン&ステキ！ポスターやチラシを再利用してオリジナルマスクケースをつくろう！	1階休憩コーナー	11月13日(土)		10
《ギャラリートーク》企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」	博物館展示室	11月20日(土)		28
《アートシアター》「モネ／クールベ」	博物館講堂	11月27日(土)	70	31
《ギャラリートーク》企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」	博物館展示室	12月4日(土)		48
《アートシアター》「ピカソ」	博物館講堂	12月11日(土)	70	20
《ギャラリートーク》企画展「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」	博物館展示室	12月18日(土)		21
《アートシアター》「象徴主義／シャガール」	博物館講堂	12月25日(土)	70	11
《スペシャルアートシアター》ゴッホとヘレーネの森／クレラー＝ミュラー美術館の至宝	博物館講堂	1月15日(土)	250	43
《スペシャルアートシアター》ゴッホとヘレーネの森／クレラー＝ミュラー美術館の至宝	博物館講堂	1月22日(土)	250	43
《アートシアター》「ZERO PROJECT SUISEI 43 TOTTORI」中ハシクシゲ ゼロプロジェクト 彗星43／鳥取	博物館講堂	2月5日(土)	250	8
《ギャラリートーク》企画展「小早川秋聲—旅する画家の鎮魂歌」	博物館展示室	2月12日(土)		30
《館外普及事業》ミュージアム・サロン13 アートと社会と未来について	パープルタウン	2月20日(日)	20	25
《レクチャー&ワークショップ》オリジナルの“表装”でミニ掛軸をつくろう！	博物館会議室・展示室	2月26日(土)	10	9
《スペシャルアートツアー》「小早川秋聲ゆかりの地を巡る旅in奥日野」	黒坂駅、日南町美術館	3月5日(土)	20	9
《特別講演会》「小早川秋聲が尋ね求めたもの」	博物館講堂	3月12日(土)	70	50
《ギャラリートーク》企画展「小早川秋聲—旅する画家の鎮魂歌」後期展示編	博物館展示室	3月13日(日)		35
《特別講演会》「小早川秋聲の画業と《國之楯》」	博物館講堂	3月19日(土)	70	45
《スペシャルアートレクチャー》「対話型鑑賞による学びの可能性—本当に役に立つの？」	博物館講堂	3月26日(土)	250	23
《館外普及事業》アートの種まきプロジェクト「美術館ができるまでを伝えるフリーペーパー」の 発送作業を一緒にやってみませんか？(公開発送作業)	倉吉未来中心ホワイエ	3月26日(土)		7
合 計 50 回 (うち6回中止)				1,269

総参加者数	4,319
-------	-------

エ 調査研究活動

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 鳥取県内の戦争遺跡に関する調査研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究 鳥取県内の釈迦十六善神像及び大般若経の調査
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究 東京オリンピック関係資料の調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和3年度企画展(「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」)および令和4年度企画展(「安岡信義と鳥取近代洋画のパイオニア(仮称)」)等に関する調査研究
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究 デジタルアーカイブに関する研究

18 博物館資料保有状況

(単位：点)

区分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購入	寄贈	採集	保管換	分類換		
地学	8,040			103				8,143
動物	36,271	4	6	137				36,418
植物	55,665			58				55,723
歴史	55,340	2						55,342
近現代資料	8,275	21						8,296
民俗	4,120	2	9					4,131
考古	8,292							8,292
美術	9,989	10	314		1			10,314
合計	185,992	39	329	298	1	0	0	186,659

